

令和7年度歴史公文書等管理委員会 会議資料

第1 審議事項

1 利用請求に対する処分等についての審査請求

第2 報告事項

1 保存期間満了文書の選別

(1) 令和7年度保存期間満了文書の選別

- ・令和7年度保存期間満了文書の選別について

(令和7年10月総務課提供データより)

別紙1

保存期間が満了する文書	9,751点
内訳 歴史公文書等に該当するとして移管とした文書	219点 (2.25%)
廃棄する文書	9,050点 (92.81%)
保存期限の延長を行った文書	389点 (3.99%)
同 変更を行った文書	69点 (0.71%)
常用文書	24点 (0.25%)

(2) 令和8年度保存期間満了文書の選別

- ・10/21(火) スケジュール・方針確認(総務課・生涯学習スポーツ課)
- ・現在、評価選別作業および協議を実施中(3/15(日)回答締切)
最終確認ののち廃棄・移管
夏前 燻蒸(殺虫・殺カビ)、歴史館への搬入
秋頃 装備、配架、目録の公開

2 歴史公文書等の受入れ・整理・公開

(1) 歴史公文書等の整理状況

- ・平成26年歴史公文書制度導入時の課題に対応している

①開館時搬入行政文書の処理

→廃棄決定済分を順次廃棄中(令和7年度廃棄実績 28箱)(新)

②平成26年に保存期限を10年延長した文書への対応

→令和5年度実施評価選別において複数の「不存在」が確認された(昨年度報告済)

→現用段階での不存在(『事務報告書』への記載なし)

(2) 現用文書に関する助言・相談対応(新)

- ・歴史公文書等の適切な保存及び移管を確保するために必要な情報の提供を行った

①文書管理にかかる助言

事業の終了や倉庫の片付け等に起因する過年度文書の整理等の発生にともない、文書作成・保管課からの相談に対し助言を行った

- ・企画調整課、秘書広報1課、市民課、教育支援課、生涯学習スポーツ課、住宅対策課

②電子公文書にかかる課題共有（新）

電子公文書および電子決裁システム導入に係る諸課題について協議中

- ・総務部総務課「現行システムには移管機能が無い」→移管データの特定を依頼
文書管理規則2条5号

(5) 電子文書 電磁的記録のうち、第18号の文書管理システムによる情報処理の用に供するため当該システムに記録されたものをいう。

→「記録されたもの」の移管内容の決定 **10 情報共有で詳述**

6/26 (木) 電子ファイル引継にかかる打ち合わせ (総務課・歴史館)

総務課「文書管理システムには移管機能が無い」

「移管すべきデータについて総務課にて検討する」

7/24 (木) 課内における論点整理・会議 (歴史館)

9/16 (火) 業者ヒアリング

→現行の本庁システム・歴史館データベースの構成等

③修復・保存、電子化等にかかる技術的な助言

- ・建築指導課、市民活動推進課 (東京都公園協会)

(3) 歴史公文書等の目録公開状況

ア 目録の公開点数

時 期	目録公開点数
平成27年4月1日時点	857点
平成28年4月1日時点	949点
平成29年4月1日時点	1,117点
平成30年4月1日時点	1,270点
平成31年4月1日時点	1,422点
令和2年4月1日時点	1,629点
令和3年4月1日時点	1,774点
令和4年4月1日時点	1,907点
令和5年4月1日時点	2,074点
令和6年4月1日時点	2,391点
令和7年4月1日時点	2,610点

イ 目録の公開方法

紙に印刷し、事務室に備え付けて閲覧に供し、令和4年4月1日よりインターネット上にて考古・民俗・古文書資料とともにデータベース提供を開始。市民の利用に供している。

3 歴史公文書等の利用・照会等

(1) 歴史公文書等の利用状況

別紙2

(2) 実施機関等に対する情報提供（新）

ア 歴史的事項の調査

施策・計画の立案や庁内会議の参考に資する情報または前例情報の提供等

・施設課、産業振興課、市民活動推進課、児童青少年課、下水道課、教育支援課

イ 市民からの問い合わせ対応への助言・情報提供

回答作成に要する情報の提供等

・環境政策課、道路管理課

ウ 「その他の文書」の助言・情報提供（新設）

条例2条（定義）2号（歴史公文書等）が定める「その他の文書」について。

当該文書にかかる課題は下記のとおり。

- ・『武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館 第3期管理運営基本方針』（令和5～10年度）「アジア・太平洋戦争期の資料」および「近現代史資料」の取扱い
- ・国立公文書館の取組み（オーラルヒストリーの収集・日記等の収集）の積極化
- ・常設展における歴史公文書等の理解を補助する史資料の必要性

【主な対応】

①遺品整理相談（水井家）（引継ぎ）

発端：5/17（土）「昨秋に歴史館の学芸員に相談したが返事がない」との相談

内容：祖父の遺品（陸軍大尉）の取り扱いについて

継承：古文書担当学芸員が引き取り（以後未詳）

②中島飛行機ヒアリング（佐久間氏）（完了）

発端：8/19（火）佐久間一郎（武蔵製作所所長）次男の長男の長女来館

内容：佐久間一郎長男の長男の終活にともなう発掘資料散逸の懸念について

実施：9/4（木）ヒアリング。本人は記憶が錯誤。一次史料なし

③北村西望作品および関係歴史公文書・行政文書・財政援助文書（継続）

発端：指定文化財化の可能性について歴史館側から打診

内容：市内近代美術品の文化的価値と市文化財指定の可能性について

実施：9/10（水）吉祥寺美術館 滋野学芸員と打ち合わせ

土方氏（元 彫刻園学芸員。北村西望研究家）の助言

④週刊きちじょうじ企業アーカイブズ整理（継続）

発端：毛塚氏（全史料協監事）による相談

内容：週刊きちじょうじ編集部保管の諸資料の将来的な取り扱いについて

実施：訪問し現物を確認、課題の洗い出し、整理方針・廃棄基準の策定支援

9/29（月）、12/1（月）、2/2（月） 訪問

⑤グリーンパーク写真の取扱い（小田切氏）（完了）

発端：東コミセン講演の聴講（7/13（日））

内容：自身が撮影したグリーンパーク撤去工事時の写真の整理

実施：11/18（火）来館

⑥名誉市民（天野貞祐）関係資料調査（継続）

発端：獨協大学職員の来館と相談

内容：名誉市民 天野貞祐（文部大臣、獨協大学創立者）関係資料の調査

実施：12/25（木） 獨協歴史ギャラリー（獨協大学 天野貞祐記念館内）

⑦小美濃文太郎関係文書の取扱い（完了）

発端：文太郎孫による情報提供

内容：町議・市議を務めた小美濃文太郎氏の資料整理・寄贈

実施：寄贈・仮目録作成が完了。歴史館大学受講生と資料調査（調査は継続）

閲覧：48回（延べ回数）

⑧いとすぎ学級関係資料の取扱い（継続）

発端：教育支援課からの相談

内容：武蔵野赤十字病院内院内学級資料の整理

実施：3/4（水）訪問、仮目録作成、境南小・6中にて確認中

⑨戦争関係資料（大村家資料）（完了）

発端：来館・電話

内容：祖父の関係資料の取扱いについて。大正末～戦時中。徴兵検査等

実施：8/31 来館

⑩武蔵野市百年史編纂時収集資料（継続）

中央市政センター2階会議室（大）にて保管。継続して整理を実施した。

2/18（水）利用にかかる打ち合わせ（中央市政センター・市民会館・歴史館）

借用継続依頼済（令和8から10年度末まで（3か年））

⑪高橋家資料（吉祥寺北町）（継続）

発端：農業委員会、市民活動推進課からの相談

内容：戦争関係、地域資料の整理について

実施：継続して実施中

4 歴史公文書等に関する保存管理

（1）保存環境の整備

- ・データロガーによる温湿度測定、虫害トラップによるモニタリングを実施

湿度は通年で50～55%。カビ・虫等の発生は認められなかった

→冬季は昼間に加湿器稼働、夜間に除湿器稼働のため、低温の「谷」が浅くなった

（2）修復（新）

ア 市制施行以前の歴史公文書の修復

- ・令和6年度末に新たに移管を受けた市制施行以前文書の修復を行った。

明治22年『本郡告示訓令綴』ほか全19冊（新）

11/27（木）修復委託先にて現場確認を実施、3/16（月）納品予定

- ・酸性紙の脱酸は保留。撮影を優先して実施

イ 市制施行以前の歴史公文書の撮影

- ・修復を終了した簿冊のうち、文字が消失しかかっている文書（例：こんにやく版による印刷物）、劣化が著しい文書を含む簿冊等についてデジタル化をおこなった（5冊。約1,700コマ）（3/17（火）納品予定）（新）

同文書は令和6年度末移管市制施行前文書（条例施行時10年延長したもの）

ウ 市制施行以後の歴史公文書

- ・表紙等に破損や汚損が見られる文書について、館内にて表紙の換装、金属具の除去、粘着テープの剥離等の作業を適宜実施し、文書の劣化を予防した
- ・ホコリの清拭などのクリーニング作業を実施した
→中学生職場体験、博物館実習、歴史館大学等

エ レプリカの作成

- ・令和7年度作成なし

5 歴史公文書等に関する普及活動（新）

(1) 歴史公文書等の展示

ア 常設展

令和6年度に常設展をリニューアルし、歴史公文書等を常時展示している
適宜入れ替えを実施

展示：現物33点（一括資料を1と計数 例：ムーバスグッズ6点も「1点」）

イ 「戦争と武蔵野Ⅺ ～戦争をこえて変わるまち～」

開催期間：令和7年8月2日（土）～9月25日（木）

会場：ふるさと歴史館 企画展示室

内容：戦中・戦後の歴史公文書等、米国国立公文書館原蔵資料等計76点

広報：『市報』、SNS、ホームページ

展示資料：◎歴史公文書

昭和19年『例規』、昭和20年『社寺関係文書』、昭和16年『議案』、
昭和16年『会議録（全）』ほか全6点

◎歴史公文書以外

米国国立公文書館原蔵資料（令和6年度新規収集資料ほか）

市民寄贈現物資料（小美濃文太郎日記）等

全点内訳：現物資料32点、写真44点、計76点

企画展入場者：3,658人（81.29/日）

関連事業 講演会

内容：武蔵野地方史研究会と連携

日程：令和7年8月31日（日）

講師：依田哲夫「引込線に残る少年・少女たちの記憶」
亀井敏郎「山谷通りの誕生と変遷」

参加者：61人

ウ 令和7年度 第4回特集展示 歴史館大学成果展示②

「昭和100年度にふり返る、大正時代の武蔵野市域」

開催期間：令和8年2月14日（土）～4月30日（木）

会場：ふるさと歴史館 常設展示室

内容：令和元年開講の歴史館大学受講生（6年生）による展示。史料整理の成果をもとに実施。「昭和」の前提となった「大正」の理解を通じ、昭和100年を問い直す。歴史公文書5点、その他15点（個人蔵含）全20点

広 報：ホームページ、SNS

展示資料：武蔵野市歴史公文書等 ほか

(2) 外部対応（来館）

ア 歴史館大学

通年の講義を実施し、生涯学習支援をおこなった。事業開始は令和元年度（7年目）

タイトル：「歴史公文書で見る武蔵野の近現代」①②③④⑤⑥⑦

開催日：5月から3月まで毎月1回（全10回）

2/28（土） 市民アーカイブ多摩見学（6学年合同）

会場：ふるさと歴史館 会議室

受講生数：①12 ②9 ③8 ④3 ⑤3 ⑥6 ⑦5 計46人

イ 防火セッションへの出講

内 容：文化財防火デーに合わせて開いた文化財の普及啓発にかかる講演会

演 題：「足元に眠る戦災～不発弾と公文書が語る武蔵野の記憶～」

開催日：令和8年3月14日（土）

会場：ふるさと歴史館 ワークスペース

参加者：12名

ウ 亜細亜大学 教員養成課程への協力

テ ー マ：社会教育特論Ⅱ、総合的な学習の時間

地域教材のあり方、史料保存利用機関の役割についてインタビュー

6/3（火）、11/19（水）、12/22（火）

エ 武蔵野市郷土史会

①見学会（企画展）

内 容：地域連携の一環として生涯学習団体との連携を行った

開催日：令和7年9月8日（月）

参加者：17人

会場：ふるさと歴史館 会議室

②講演

演 題：「市長事務引継書からみる武蔵野市の課題」

開催日：令和8年2月14日（土）

参加者：21人

会場：ふるさと歴史館 会議室

オ 財援団体

武蔵野プレイス いきいきセミナー

演 題：「市域の災害史から学ぶ」

開催日：①令和7年4月21日（月）②同11月4日（火）

会場：ふるさと歴史館ワークスペース、常設展示室

参加者：①33人 ②34人

カ 実施機関

①市立中学校 職場体験

令和7年11月20日（木）3人

会場：ふるさと歴史館会議室

②チャレンジルーム

令和8年3月5日(木) 12人

会場：ふるさと歴史館常設展示室

③市民活動推進課

内容：武蔵野市青少年平和交流派遣団の事前学習会

演題：「武蔵製作所への爆撃から何を学ぶか」

開催日：令和7年7月13日(日)

参加者：22人

会場：ふるさと歴史館 ワークスペース

キ その他

①フリースクール(むさしのクレスコーレ・コスモ高等部) 対応

5/21(水) 今年度方針打ち合わせ(両)

9/1(月) 事前打ち合わせ(クレスコーレ)

9/2(火) 事前学習(クレスコーレ)

9/11(木) 事前学習(高等部)

11/6(木) 報告会(クレスコーレ)

12/9(火) 常設展新資料設営(クレスコーレ)

1/21(水) 事後学習(高等部)「広島スタディツアー2025」作成協力
→まとめ冊子『それぞれの広島』刊行

②老壮連合会

老壮連合会82期(ハニワ会)9/17(水)

参加者：12人

(3) 外部対応(出講)

①公益財団法人たましん地域文化財団

内容：『多摩のあゆみ』創刊40周年記念シンポ「多摩のアーカイブをみつめて」

開催日：令和7年12月13日(土) ※指名発言

②吉祥寺東コミュニティセンター主催 地域のつどい

演題：「公文書から見る中島飛行機武蔵製作所の歴史

～都立武蔵野中央公園ができるまで～」②・③

日程・参加者：令和7年7月13日(日) 27人、11月23日(日) 18人

③歴史学会

内容：第8回歴史総合シンポジウム

開催日：令和7年10月5日(日)

会場：明治大学駿河台キャンパス

※ 戦後80年と史料活用の実践報告。成蹊中学行田教諭(社会科)との連携

④成蹊大学

メディアリテラシー演習(今田絵里香教授)への協力

令和8年1月16日(金) ラジオ出演(戦後80年とアーカイブズの役割)

⑤武蔵野緑会

ア 評議員会研修「武蔵野緑会を語る資料と私たち」(中町集会所4/10(木))

- イ 同 「初代理事長 安積得也と近藤薫樹」(かたらいの路 6/16 (月))
- ウ 合同研修会 「史資料からみる安積得也の人生」(芸能劇場 6/23 (月))

⑥国立ハンセン病療養所駿河療養所入所者自治会

市民交流研修「公文書館って何？」(国立駿河療養所 4/12 (土))

⑦図書館総合展

オンライン出演

「米国資料から見る戦後 80 年～武蔵野ふるさと歴史館の取り組み～」(録画)

会場見学 (10/23 (木))

(4) 視察対応

- ①新日本婦人の会 (4/23 (水)) 6 人
- ②青山学院大学大学院 (7/14 (月)) 4 人
- ③相模原市公文書館、(10/29 (水)) 2 人
- ④社会教育課長会 (10/30 (木))

(5) フェロシップ (特別研修員) の受入

※現在登録なし

(6) 博物館・アーカイブズ実習の受入

期 間：博物館実習 令和 7 年 8 月 28 日 (木)

アーカイブズ実習 ※今年度は申込無し

人 数：博物館実習 5 名

内 容：博物館実習の第 4 日目を担当

公文書館機能にかかる講義、資料取扱いの実務を教授した

(7) 他機関連携

①全国歴史資料保存利用機関連絡協議会 (全史料協) 関東部会

アーカイブズ機関を会員とする全国組織 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会 (全史料協) の地域部会 (東日本) である関東部会の会長館 (令和 5・6 年度) を引き受け、地域連携を強化した

西係長が会長を、公文書専門員が事務局長となり会務を執行

令和 7 年度総会 (7/1 (火)) にて任期満了

親会総会 8/23 (土) 前年度事業報告、残務処理、金融機関口座閉鎖のち引継ぎ

◎事業

・総会

令和 7 年 7 月 1 日 (火) (武蔵野スイングホール)

・総会記念講演会

講師：太田 富康 (元 埼玉県立文書館副館長)

演題：「文書館運動」の時代に始めて 40 年を経てのアーカイブズとアーキビスト」

・役員会

7/1 (火) ふるさと歴史館

②三多摩公立博物館協議会

・協議会

第 1 回協議会 (2/27 (金) 大和市長中央図書館)

・研修会

「博物館における燻蒸と IPM の最新の見解」(2/27 (金) 大和市立中央図書館)

③東京都公文書館

・研修会 (特別区協議会合同研修)

「ライフサイクルを貫く文書管理の課題」8/27 (水) オンライン

6 公文書管理に関する研修等 (新)

(1) 総務課主催による研修

研修を再編成し、新規採用職員から文書取扱主任まで I から V までの段階別研修に切り替え (令和 2 年度)、歴史公文書等については公文書専門員が I・IV に協力 (テキストの執筆・助言、動画による出演) した

(2) 人事課主催による研修

新規採用職員向け研修の一環として博物館機能、公文書館機能、市の歴史 (原始から現代まで)、文書管理について講義。令和 5 年度に人事課と協議してプログラムを大幅に改め、他の研修プログラムとの重複を削除。令和 6 年度からは公務の前提となる文書主義を追加

開催日: 令和 7 年 4 月 3 日 (木)・7 日 (月)

対象: 新採用職員

(3) 公文書管理にかかる職員研修

総務部総務課と協議し、公文書管理研修を実施

日程: 令和 8 年 3 月 11 日 (水)

講師: 山口 和明 (相模原市立公文書館 館長)

「現用文書管理と歴史公文書制度の運用～相模原市の事例から～」

対象: 市職員・財援団体職員

参加者: 45 人

(4) 国立公文書館主催事業

令和 7 年度アーカイブズ研修

※今年度履修なし

(5) 職員研修

ア 全史料協 (親会)・全史料協関東部会 (関東)

①総会・総会記念講演会

※5 (7) ①と同

②定例研究会

第 328 回定例研究会「中央大学 大学史資料館見学会」(8/26 (火))

イ 国立公文書館

①「国際アーカイブズ週間」記念講演会

6/12 (木) (オンライン)

②全国公文書館長会議

6/13 (金) (オンライン)

ウ その他

研修一覧 **別紙3**

7 公文書専門員等の異動等

(1) 会計年度任用職員（アシスタント職員）

令和7年度は3名を雇用し、歴史公文書等の整理等に従事している

(2) 行政職

高橋 徹 武蔵野ふるさと歴史館担当課長 → 人事課長（令和7年4月1日付）

大杉 光生 武蔵野市文化生涯学習事業団派遣 → 現職（同）

8 メディア掲載への協力

・『市報』

8月15日号

・新聞

※時事通信配信記事「戦後80年と戦争体験・「解像度」高い継承工夫を」の掲載

取材は令和6年度「平和の日」(R6 11/24) イベント

4/25 福井新聞・熊本日日新聞

4/26 長崎新聞

4/29 高知新聞・中国新聞

5/5 中部経済新聞・千葉日報

5/8 愛媛新聞・徳島新聞・奈良新聞

・多摩地域タウン誌『アサココ asacoco』（隔週木曜『朝日新聞』同配）

9月4日号（第304号）

・むさしのFM

8/14、8/25

・雑誌等

POP EYE 278 8/15

842PRESS 22 7/1

Yahoo Japan ニュース 6/13

9 令和8年度の主な事業予定

(1) 総務課主催研修

文書管理の実務研修に協力。令和8年度中

(2) 人事課主催研修

新採用職員の研修に協力。令和8年4月6日（月）・7日（火）

(3) 公文書管理にかかる職員研修

令和8年度中

(4) 令和8年度廃棄対象文書の選別スケジュール

・引き渡し…夏頃

・燻蒸…夏頃

・排架、整理、目録の公開…秋頃

(5) 各種研修

- ・未定

(6) 令和8年度の歴史公文書等の展示

歴史公文書の活用に努める。

※タイトル・日程いずれも仮

ア 企画展

- ・「戦争と武蔵野Ⅺ～戦争をとりまく「食」(仮)～」

開催日：令和8年8月1日(土)～10月1日(木)

内容：新たに収集した米国国立公文書館原蔵資料、武蔵野市歴史公文書等を用いて中島飛行機武蔵製作所への空襲等を題材に構成。武蔵製作所および市民をとりまく食、とりわけ武蔵製作所内の食堂など今までほとんど未解明であった従業員の食生活を市民と比較し戦時下の暮らしをとりあげる。

イ 特集展示

- ・「歴史館大学成果展示③ 人物から見る武蔵野の近現代史」(仮)

開催日：令和9年2月12日(土)～令和9年4月28日(水)

内容：生涯学習講座「歴史館大学」受講生による学習成果展示。歴史公文書等を用いて市域の人物について取り上げる。

ウ 普及活動

歴史館大学

①旧年度履修生(8～2年生)を対象とした講座・演習(全10回)

②令和8年度新入生(1年生)を対象とした講座(全10回)

- ・講座の再編(6学年制に再編)

大学 ①②基礎講座 ③応用講座 ④情報発信の実践

大学院 ①発信コース ②史料コース

(7) 関連団体との連携

特記なし

10 歴史公文書等に関する情報共有

(1) 本市 電子公文書システムの導入(継続)

令和5年9月より、全庁的に電子を原本とする電子公文書システムに切り替えた

→電子決裁システムも導入

①ポーンデジタルの行政文書の移管

ア 手法(メタデータを含めたデータの吐き出し等)

イ 移送(通信を用いた送付、可搬媒体へのコピー等)

ウ 安全(セキュリティ、ウイルスチェック、パスワードの解除等)

→総務部総務課へ『デジタルアーカイブ・システムの標準仕様書』を提供

②ポーンデジタルの歴史公文書等の管理システム構築

ア 令和6年度作成 3年保存文書(電子)の移管(令和8年度末保存期限満了)対応

※令和5年度 3年保存文書(電子)の移管は無かった

イ 令和5年度作成 5年保存文書(電子)移管(令和10年度末保存期限満了)準備

③ポーンデジタルの歴史公文書等の利用提供方法策定

→総務部総務課の回答待ち

現行システムには移管機能なし（総務課回答）

→コメント機能（独自機能）による指示は行政文書

ここまで含めて「移管データを決めてほしい」と依頼（応答なし）

【参考 国の動き】

①令和7年4月 『電子公文書の作成・保存・利用ガイドブック』公開

→地方自治体の意見聴取も踏まえて作成

電子環境を前提にした文書管理の整備

②令和7年5月27日付

デジタル庁

「DS-920 行政の進化と革新のための生成 AI の調達・利活用に係るガイドライン」

デジタル社会推進会議幹事会決定

生成 AI を活用して作成した文書や、チャット等の入出力結果について

→組織的に共有された場合は行政文書となり得るという整理（公文書管理法）

→成果物だけではなくプロンプトや応答履歴をどう位置づけるかが課題

（2）市立小学校・中学校が保管する学校行政の文書

未着手

法令：学校教育法施行規則 28 条 学校備付表簿

課題：事務職員（東京都職員）への研修（昨年度参加あり）

事例：院内学級文書の対応（令和8年3月）

※いとすぎ学級（武蔵野赤十字病院内）文書

中学校（市立6中）。小学校（市立境南小）

（3）財援団体の文書

令和7年度 スイミングホール、芸能劇場の指定管理者変更

→企画調整課「財政出資団体援助団体 指導原議・資料」（10年保存）の移管

※昨年度初移管（平成26年度文書）

以後、継続して移管に取り組む

（4）官報の電子化

官報の発行に関する法律（令和5年法律第85号） 令和7年4月1日施行

・保管・閲覧のあり方が変更（未確認）

・電磁的記録が官報の正本

（5）武蔵野市歴史公文書等の市指定文化財にむけて

市制施行以前の文書→全ての修復・撮影が完了する見込み

→町制施行100年（令和10（2028）年度）に企画展・指定

◎広島県山野村役場文書（県）、大阪府和泉市旧町村役場公文書（市）

河内村役場文書（市（熊本））、幌別村役場文書（市（登別））

第3 その他